

0019

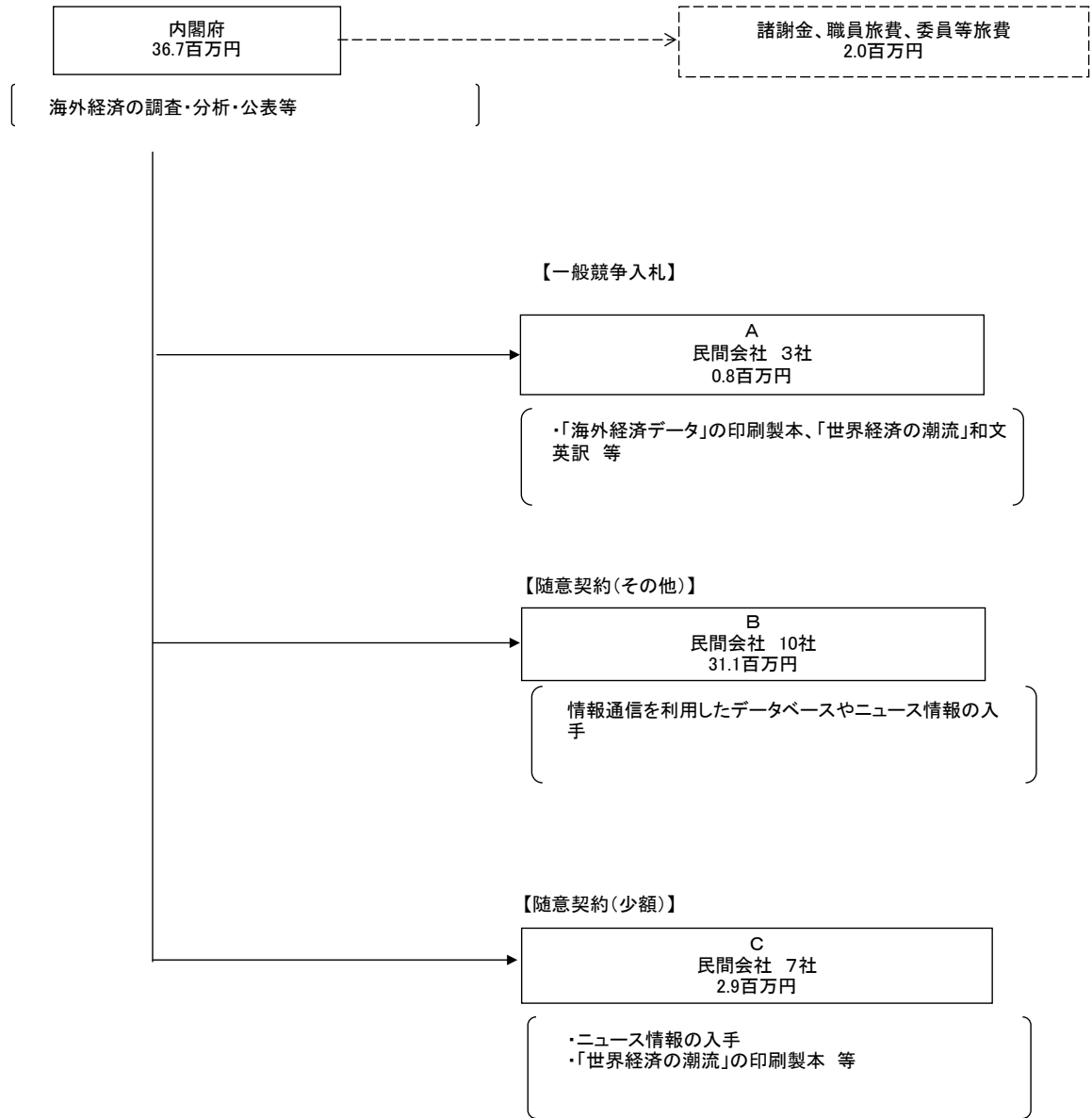
平成31年度行政事業レビューシート（内閣府）										
事業名	海外の経済動向調査等に必要経費				担当部局庁	政策統括官（経済財政分析担当）			作成責任者	
事業開始年度	平成12年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	参事官（海外担当）			岩田 安晴		
会計区分	一般会計									
根拠法令（具体的な条項も記載）	内閣府設置法第4条第3項第1号				関係する計画、通知等	－				
主要政策・施策	－				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	・経済財政政策の企画・立案等に資するため、海外経済動向・国際金融情勢に関する迅速かつ的確な情報の収集と調査・分析を行い、我が国の経済財政政策運営のための基礎資料を提供する。また、時々々の経済情勢や各方面からのニーズに応じ、質の高い調査分析結果を提供する。									
事業概要（5行程度以内。別添可）	・海外経済動向・国際金融情勢にかかる、幅広い情報収集体制を確立し、分析・調査を行い、迅速に大臣、幹部へ報告。 ・我が国の経済財政政策運営に資するため、海外経済動向・国際金融情勢について、景気判断やマクロ経済政策を中心に分析を行い、「月例経済報告」の海外経済部分を作成。「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」に報告した後、公表。 ・海外経済動向・国際金融情勢を幅広くより深く総合的に分析することにより、我が国の経済財政政策運営に資するため「世界経済の潮流」を作成、公表。 ・OECD各国経済審査会合等の国際会議に出席し、会議での議論と報告書の取りまとめに参画。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額（単位：百万円）			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求			
	予算の状況	当初予算	43	40.9	41.2	40.4	47.9			
		補正予算	－	－	－	－				
		前年度から繰越し	－	－	－	－				
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－				
		予備費等	－	－	－	－				
	計		43	40.9	41.2	40.4	47.9			
	執行額		41.6	35.5	36.7					
	執行率（％）		97％	87％	89％					
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		97％	87％	89％					
平成31・32年度予算内訳（単位：百万円）	歳出予算目		31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
	情報処理業務庁費		34	39.2	「新しい日本のための優先課題推進枠」6.9					
	庁費		2.8	2.9						
	職員旅費		2	3.5						
	委員等旅費		1.4	2.1						
	諸謝金		0.2	0.2						
	計		40.4	47.9						
	成果目標及び成果実績（アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度
「世界経済の潮流」関連記事について、半年平均で主要全国紙3紙へ掲載		掲載記事数（成果実績）÷（目標値）＝（達成度）（小数点以下第二位四捨五入）	成果実績	紙	4	3.5	2	－	－	
			目標値	紙	3	3	3	－	－	
			達成度	％	133.3	116.7	66.7	－	－	
根拠として用いた統計・データ名（出典）										
主要全国紙5紙										
成果目標及び成果実績（アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
	「月例経済報告」関連記事について、毎月平均、主要全国紙5紙への記事掲載		掲載記事数（成果実績）÷（目標値）＝（達成度）	成果実績	紙	5	5	5	－	－
				目標値	紙	5	5	5	－	－
				達成度	％	100	100	100	－	－
根拠として用いた統計・データ名（出典）										
主要全国紙5紙										

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
		「世界経済の潮流」のHPアクセス件数を対前年度並またはそれ以上とすることを目標とする	アクセス件数 (※アクセス件数はサーバに直接アクセスされた場合のログを月ごとに集計した数値であり、閲覧人数ではない。) (成果実績)÷(目標値)=(達成度)(小数点以下第二位四捨五入)	成果実績	件	6,033	6,231	6,336	－	－
			目標値	件	9,001	6,033	6,231	－	－	
			達成度	%	67	103.3	101.7	－	－	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		ウェブアナログ解析								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込	
		「世界経済の潮流」の作成及び公表(年2回)	活動実績	回／年	2	2	2	－	－	
			当初見込み	回／年	2	2	2	2	－	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込	
		「月例経済報告」海外経済部分の作成及び公表(月1回)	活動実績	回／年	12	12	12	－	－	
			当初見込み	回／年	12	12	12	12	－	
政策評価、 新経済・財政再生計画との関係	政策	3. 経済財政政策の推進								
		施策	⑨内外の経済動向の分析							
	測定指標	定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標年度 － 年度	
		報道の状況(月例経済報告について、毎月、主要全国紙5紙への関連記事掲載) (目標値:毎月主要全国紙5紙への関連記事掲載)	実績値	紙	5	5	5	－	－	
			目標値	紙	5	5	5	－	－	
		定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標年度 － 年度	
		報道の状況(世界経済の潮流について、主要全国紙における関連記事掲載数(半年平均)) (目標値:半年平均で主要全国紙3紙への関連記事掲載)	実績値	紙	4	3.5	2	－	－	
			目標値	紙	3	3	3	－	－	
		定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標年度 － 年度	
		ホームページにおけるアクセス件数(月例経済報告) (目標値:対前年度並以上)	実績値	件	159,259	134,778	138,782	－	－	
			目標値	件	178,369	159,259	134,778	－	－	
		定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標年度 － 年度	
		ホームページにおけるアクセス件数(世界経済の潮流) (目標値:対前年度並以上)	実績値	件	6,033	6,231	6,336	－	－	
			目標値	件	9,001	6,033	6,231	－	－	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	政府が経済財政運営を適切かつ機動的に行うためには、政府自ら海外の景気動向等を的確に把握することが必要不可欠である。本事業は、海外の景気動向等を的確に把握し、政府が経済財政運営を適切かつ機動的に行うためのエビデンスとして活用される。									
事業所管部局による点検・改善										
	項 目				評 価	評価に関する説明				
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	政府が適切かつ機動的な経済財政運営を行う前提条件として、海外経済動向の分析は不可欠である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	政府が経済財政運営を適切かつ機動的に行うためには、政府自ら海外の景気動向等を迅速かつ的確に把握することが必要不可欠である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	適切かつ機動的な経済財政運営を行うために、海外経済動向の分析は必要かつ適切であり、優先度は高い。				

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	印刷業務は一般競争入札や見積り合わせにより最も廉価な業者に発注するなど、経費削減に取り組んでいる。 競争性のない随意契約としているデータベース等は会計法第二十九条の三第四項にある「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」に該当するものであることから競争性のない随意契約としているが、毎年、分析業務に真に必要なものを見直し、厳選している。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有				
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	データ収集や分析に必要なもののみに支出している。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	毎年度データ収集費用等の見直しを行っている。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	主要全国紙への掲載は目標値を下回ったが、他のメディア(共同通信、時事通信等)にも取り上げられ、国民に広く周知された。ホームページにおけるアクセス件数は目標を達成した。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	本レビューシートP. 2に記載の通り、各公表物を遅滞なく公表できている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業の成果物は、HPへの記載や民間団体から依頼される講演によって広く国民に周知され、活用されている。			
点検・改善結果	点検結果	限られた予算のなかで、最大限に情報通信技術を活用することによって、調査業務の効率化を図り、経済情報を迅速に収集し、的確な海外経済動向の分析を行っている。また、各種報告書の印刷や英訳においても、一般競争入札や複数の請負業者から見積りを取り、最も廉価な業者に発注するなど経費削減に努めている。					
	改善の方向性	今後も、引き続き一般競争入札により請負先を選定の上、定期的に支出状況、進捗状況を把握する。 また、経済調査は、経済財政政策の運営や各方面のニーズに応える質の高い情報を提供することが重要であるので、引き続き、付加価値の高い調査をするように努める。今後も測定指標の達成に向け、国民の関心の高いトピックを扱うなど、記事掲載やHPのアクセス件数の増加につながるような工夫を検討していくこととしたい。					
外部有識者の所見							
-							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ適正な予算執行に努める。						
備考							
内閣府「月例経済報告」 http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html 内閣府「世界経済の潮流」 http://www5.cao.go.jp/keizai3/whitepaper.html#chouryuu							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	0038	平成23年度	0039	平成24年度	0044	平成25年度	0024
平成26年度	0026	平成27年度	0022	平成28年度	0019	平成29年度	0018
平成30年度	内閣府 (0018)						

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)ワコー			B.トムソン・ロイター・ジャパン(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	印刷製本費	海外経済データに係る印刷業務	0.6	データ購入	データストリームの利用	7.4
	計		0.6	計		7.4
	C.日経印刷(株)			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	印刷・HTML化	世界経済の潮流(2018年 I)印刷・HTML化	0.8			
	計		0.8	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

A.

BC[illegible]